

コーチ研修制度改定 よくある質問&回答

1. 資格の取得・移行に関する質問

- 認定コーチ資格の未取得者、失効者は、今後どのようにコーチ資格を取得するか？
→新規取得の手順で取得してください。コーチ 1 から取得となります。
→コーチ 1 の要件:ラーニングポータル(レベル 1)受講、コーチクリニック競技(座学動画視聴・理解度チェック回答)、コーチクリニック競技(実技)、実働経験
- 認定コーチ資格の有無の確認方法は？
→所属の地区事務局にお問い合わせください。
- 新制度ではスタートコーチを取得できないのか？
→はい。新制度開始後は、スタートコーチを取得することはできず、コーチ 1 から取得することができます。
→「スタートコーチ」は、旧制度におけるコーチ資格「認定コーチ」を有する方に対してのみ、新制度への移行に伴い付与される資格です。
- スタートコーチのままでもよいのか？
→はい。さまざまな立場で活動に関われるのが SO の良いところです。これまでの経験を活かして、地域でのスポーツプログラムを支えてください。
- 日常のスポーツプログラム(トレーニング等)でコーチを務めるために必要な資格は？
→新制度のいずれかのコーチ資格(スタートコーチ、コーチ 1、2、3)を保有していることが必須です。

2. コーチ資格の要件

- 現在、認定コーチの場合、コーチ 1 になるためにはラーニングポータルのレベル 1 の受講のみでよいのか？
→はい。

→コーチクリニック競技(座学動画視聴、理解度チェック回答、実技講習受講)、実働経験は免除になります。

- ラーニングポータルレベル 1、2、3 は、同日に受講してもよいのか？

→はい。同日に受講していただいて差し支えありません。

→コーチ 1 から 2、3 へのステップアップは、ラーニングポータルの受講のみで要件を満たします。

- ラーニングポータルレベル 1、2、3 の受講の所要時間は？

→受講者によって異なります。各自のペースで受講することができます。

- アスリート兼コーチも同様にラーニングポータルの受講が必要か？

→アスリートであっても、ファミリーであっても、コーチ資格を取得しようとする方はすべて同様の手続きとなります。

→すでに認定コーチの場合は、新制度開始時にスタートコーチに移行されます。コーチ 1 以上の取得を希望する場合は、ラーニングポータルの受講をしてください。

- ディプロマ制度(更新不要)は、実働がなくなっても資格が失効しないのか？

→はい。ただし、コーチの退会、資格返上は、地区事務局で管理をしてください。

3. 新制度移行期における研修の受講

- いつ頃から新制度が始まるか？ラーニングポータルの受講はいつから開始か？

→新制度は 2025 年 9 月 1 日から開始します。

→ラーニングポータルの受講は、それ以前から受講していただいて構いません。

- 新制度開始以降に、コーチクリニック競技の受講者は、ラーニングポータルの受講が必須か？

→はい。

→2025 年 8 月 31 日までに認定コーチの要件を満たさない方は、9 月 1 日以降にコーチ 1 の取得手順に則ってください。

- 説明会より前に、すでにラーニングポータルでコーチ 1 やユニファイドスポーツの受講を終了している。再受講は必要か？

→いいえ。受講は 1 度だけでよいです。

※ラーニングポータルのユニファイドスポーツとは、「Sport: Special Olympics Unified Sports Coaching Course」を指します。

4. 競技に関する研修、実働経験

- コーチクリニック競技(座学動画視聴、理解度チェック回答)の方法は？

→従来から変更ありません。SON ホームページをご確認ください。

(<https://www.son.or.jp/support/coaches/goa/>)

- コーチクリニック競技(座学動画視聴、理解度チェック回答)の受講証明の提出はどうすればよいか？

→従来から変更ありません。理解度チェック完了後に送信される回答メールが受講証明となりますので、そのメール本文を所属の地区事務局にご提出ください。

- 新規取得の場合、ラーニングポータルでのレベル 1 受講、コーチクリニック競技(座学動画視聴、理解度チェック回答)、コーチクリニック競技(実技講習受講)の順序は？

→従来と同様です。コーチクリニック競技(座学動画視聴、理解度チェック回答)は、必ずコーチクリニック競技(実技講習受講)の受講前 1 ヶ月以内に受講してください。

→ラーニングポータル(レベル1)は、コーチクリニックの前後どちらでも構いませんが、コーチクリニックの受講前に、受講することを推奨します。有効期間は 1 年以内です。

- 複数競技で認定コーチの場合、コーチ 1 になるために必要な要件は？

→すでに認定コーチの場合、ラーニングポータルのレベル 1 を 1 度受講することで、コーチ 1 の要件を満たします。レベル 1 を複数回受講する必要はありません。

- コーチ資格を保有している方が、新たに別の競技のコーチ資格を追加する場合は？

→従来と同様です。コーチクリニック競技(座学動画視聴、理解度チェック回答)、コーチクリニック競技(実技講習受講)、当該競技での実働経験が要件となります。

- ユニファイドスポーツのコーチになるためには？

→従来と同様です。「ユニファイドスポーツ」に関するオンデマンド講習(座学)が、ラー

ニングポータル「Sport: Special Olympics Unified Sports Coaching Course」に置き換わります。

→ユニファイドスポーツのコーチになるためには、スタートコーチまたはコーチ 1 以上を取得またはそれらの要件となる研修をすべて受講した上で、ラーニングポータルでのユニファイドスポーツの受講、ユニファイドスポーツのプログラムでの実働経験が要件となっています。なお、ユニファイドスポーツの実技講習はありません。

- 既存のユニファイドスポーツの認定コーチは、ラーニングポータルのユニファイドスポーツを再受講する必要がありますか？

→はい。2025 年 8 月 31 日以前に旧制度でユニファイドスポーツのコーチ資格を取得済みの方は、ラーニングポータル「Sport: Special Olympics Unified Sports Coaching Course」の受講が必須となります。ラーニングポータルの受講は 1 度のみで構いません。なお、この場合には旧制度での資格取得時に実働経験があるため、改めて実働経験を示すことは免除されます。

- 実働経験の証明は？

→所属の地区事務局にお問い合わせください。

5. ナショナルゲーム・競技会引率条件

- ナショナルゲームにコーチとして参加するために必要なコーチ資格は？

→現時点では、コーチ 2 以上が要件となります。

- ナショナルゲームに引率するために、コーチ 2 の取得はいつまでか？

→エントリー時まで取得することを予定しています。大会要項の改訂版が 10 月に発表予定です。正確な情報はそちらを参照してください。

- 制度改定によりナショナルゲームを引率できる方がいなくなる可能性があるのでは？

→コーチの質を保つための国際的な基準となります。各地区組織でコーチの選考と合わせて受講の促進をお願いします。コーチの質の向上は、アスリートの有意義な競技経験につながります。

- ナショナルゲームでヘッドコーチを務めるためには、コーチ 3 の取得が必須か？
→いいえ。現時点ではコーチ 2 を必須とし、コーチ 3 を「推奨」とします。
- 地区大会で求められるコーチ資格は？
→現時点では、地区大会におけるコーチ資格のレベルに関する定めはありません。地区大会は主催となる地区組織の判断に委ねます。SO では有資格のコーチによる指導が定められていますので、無資格者がコーチとして引率しないようにご注意ください。
- 世界大会で求められるコーチ資格は？
→現時点では、コーチ 2 以上が要件となる見込みです。正確な情報は、日本選手団募集要項にてご案内いたします。

6. デジタルアクセスへの懸念

- パソコンを所有していない方の対応は？スマホで対応できないか？
→パソコンを所有している方からお借りして受講してください。スマホでの受講は対応しておりません。
→地区事務局の皆様は、所属会員でパソコンを所有していない方の受講のサポートをお願いします。

7. ラーニングポータルシステム

- ラーニングポータルの言語対応は？
→アカウント作成(初回登録)時は、英語の画面となります。登録はローマ字で登録してください。「SOI Online Learning portal 登録方法・受講手引き」を参照しながら登録してください。
→各内容の受講は、日本語で受講することができます。しかし、一部の内容では、翻訳が不完全であるものや、日本語が未対応のものもあります。
- ラーニングポータルは、複数人で受講できるか？
→いいえ。

→ラーニングポータルは個々でアカウントを作成し、個々で受講する必要があります。

- 氏名を変更した場合は？

→ラーニングポータル内の個人ページにて変更ができます。「SOI Online Learning portal 登録方法・受講手引き」を参照してください。

- メールアドレスは何でもよい？

→携帯電話キャリアのメールアドレスは、連絡が届かない場合があるため、使用しないでください。スマホで利用するメールアドレスにはキャリアメールを用いている場合があるので、ご注意ください。パソコンで利用するメールアドレスはそのまま利用いただけます。

※携帯電話キャリアのメールアドレスとは？

ソフトバンク:●●●@softbank.ne.jp、●●●@i.softbank.jp など
NTT ドコモ:●●●@docomo.ne.jp
au:●●●@ezweb.ne.jp、●●●@au.com

- "This email address has already been used, please choose another one" と表示される。どのように対応したらよい？

→すでにアカウント作成(初回登録)が済んでいる状態です。もし、パスワードをお忘れの場合は、パスワードの再発行をしてください。

- ラーニングポータルの各レベルの最後にあるクイズが全問正解になりません。

→不正解の箇所を復習し、クイズに再挑戦しましょう。クイズの「参考資料」を用意していますので、そちらも参照してください。

- セキュリティ対策は大丈夫か？

→ラーニングポータルのシステムは、スペシャルオリンピックス国際本部(SOI)が管理しているため、現状ではその運用を信頼して利用するしかありません。

8. 受講管理に関する質問

- ラーニングポータル受講後の手続きは？

→受講完了後に「証明書」をダウンロードし、所属の地区事務局にご提出ください。

→受講者個人から SON へ提出・報告する必要はありません。

- 個人のラーニングポータルを受講状況を確認する方法は？

→受講者からの申告(「証明書」の提出)に基づき管理をしてください。

→SON から地区事務局へ受講状況の共有は致しません。

- コーチ資格の認定証は発行されるか？

→現在、準備中です。認定証を地区事務局で配布できる仕組みを現在検討中です。なお、カード型の認定証は廃止しており、今後も発行は行いません。

- スタートコーチ、コーチ 1、2、3 と移行する時、管理は地区事務局となるか？

→はい。地区事務局にてコーチデータベースの管理をしていただきます。

- 地区事務局によるコーチ資格の新規登録は従来どおり年末にまとめておこなうか？

→2025 年分の認定コーチの新規登録は、8 月 31 日までに認定コーチ要件を満たす方を対象に、地区事務局による申請が必要となります。地区事務局の皆様には、10 月を目途に既存のコーチデータベースの確認作業を行っていただく予定です。地区事務局の皆様は申請を忘れずに行ってください。

→2026年以降は、コーチデータベースを地区事務局で管理していただきます。コーチ資格の新規登録およびコーチ 2、3 へのステップアップの登録は地区事務局で随時行っていただきます。新制度からは、更新に関する手続きがなくなることに加えて、年末に登録をまとめて行うこともなくなり、地区事務局の負担軽減につながります。

- 受講者から地区事務局に受講証明を報告する手順は、DX に逆行するのではないか？

→ラーニングポータルは、スペシャルオリンピックス国際本部(SOI)が一元的に管理・運営しており、国際基準でのデータベース統合を含む DX の推進が重要な目的の一つとなっております。一方で、現時点では個人の受講履歴を地区事務局単位でリアルタイムに閲覧できる仕組みは組み込まれていません。そのため、受講者本人による報告が現実的な運用手段となっております。これは、DX に完全に逆行する意図ではなく、過渡期における運用上の対応とご理解いただければ幸いです。